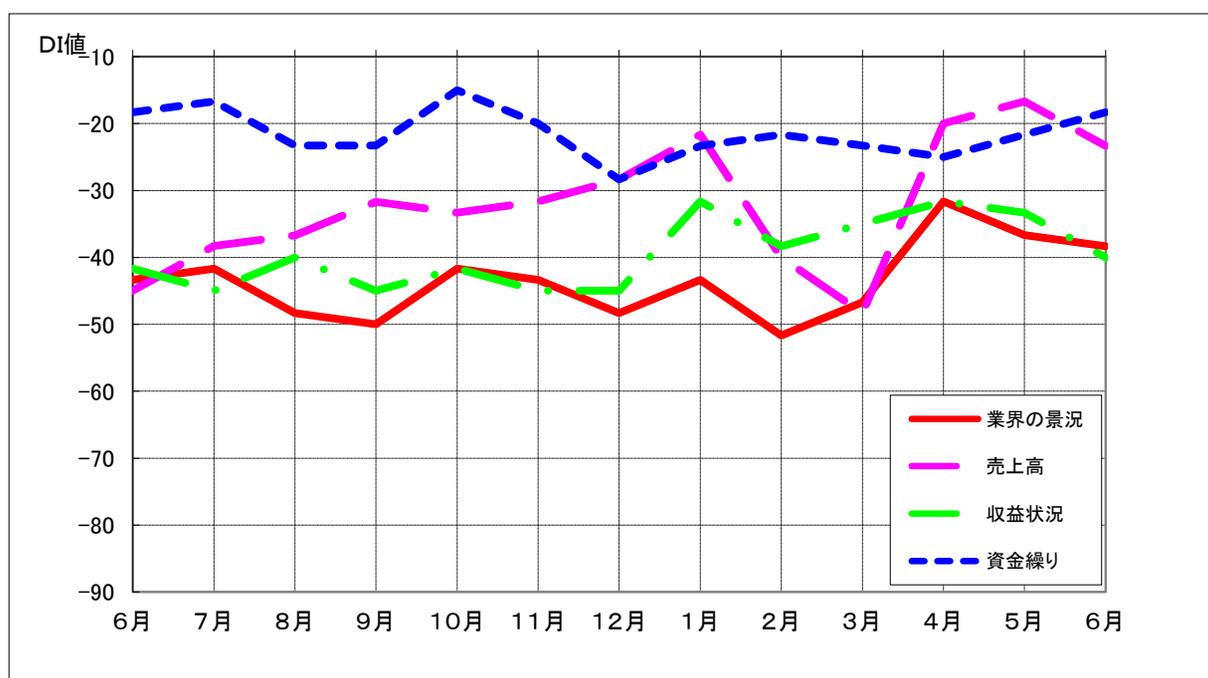


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年6月～平成24年6月

単位:ポイント



	H23						H24						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-43.3	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3
売上高	-45.0	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3
収益状況	-41.7	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0
資金繰り	-18.3	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3

○6月のDI値は前年同月に比べ、3項目で改善した。「業界の景況」DI値は5ポイント、「売上高」DI値は21.7ポイント、「収益状況」DI値は1.7ポイントとそれぞれ改善し、「資金繰り」DI値は変わらなかった。前月比で見ると、「業界の景況」DI値は1.6ポイント、「売上高」DI値は6.6ポイント、「収益状況」DI値は6.7ポイントとそれぞれ悪化し、「資金繰り」DI値は3.4ポイント改善した。製造業においては受注の減少、非製造業においては、販売価格の下落が根強い。総じて、円高の影響や消費増税の影響等もあり、先行きを不安視する声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、菓子製造業からは構造的な不況に消費税論議が重なり、低迷感が増しているという声、鉄鋼・金属製造業からは受注が増えず先行きが不透明であるという声が出ている。非製造業では、商店街からは販売価格の低下、収益の悪化など厳しい状況であるという声、サービス業からは昨年度より売上高は回復しているものの、まだまだ低調であるという声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望事項として、円高に対する政策を希望する声があった。